

利尿薬について

内服薬や注射剤の処方によく見かける利尿薬ですが、様々な種類があり、使い方や注意すべき点が異なります。そこで院内採用薬の利尿薬についてまとめてみました。

利尿剤の種類

①ループ利尿薬

…フロセミド(ラシックス®)、アゾセミド、トラセミド

②サイアザイド系利尿薬 …トリクロルメチアジド

③K保持性利尿薬

…スピロラクトン、ミネプロ®、カンレノ酸カリウム

③バソプレシンV₂受容体拮抗薬 …サムスカ®、サムタス®

※内服薬は赤色、注射は青色、内服・注射の両方は緑色で表示しています

血漿中の電解質（ミネラル）への影響

	Na値	K値
ループ利尿薬 サイアザイド系利尿薬	↓	↓
K保持性利尿薬	↓	↑
バソプレシンV ₂ 受容体拮抗薬	↑	↑

どの利尿薬も電解質に影響を与えるので、利尿薬の使用中には電解質異常に注意が必要です。ループ利尿薬は強力な利用効果があり、多くの場面で使われています。

サイアザイド系利尿薬は降圧薬として使われることが多いです。（利尿薬は体液量を減少させるため、どの利尿薬も血圧を下げる作用はあります。）

K保持性利尿薬は利尿効果は弱いですが、K値を上げる作用があり、ループ利尿薬やサイアザイド系利尿薬のK値を低下させる作用と拮抗するため、それらの利尿薬使用時の電解質異常の補正に使用することがあります。また、うっ血性心不全や肝硬変などのRAA系が亢進している状態の浮腫に使用することもあります。

バソプレシンV₂受容体拮抗薬は水の排出を促進するものの、電解質の排出には影響を与えないため、電解質が濃縮されるイメージで、Na値、K値ともに上昇する可能性があります。

薬局では、DI Newsで取り上げて欲しい内容を募集しております。
何かございましたら、院内のメールにて薬局中村までご連絡ください。